

「ふるさと活性化研修会」の開催について

農林水産省

財団法人 農村開発企画委員会

1. 趣 旨

これからの農村振興は、豊かな自然環境や美しい景観、伝統文化に触れ合うことができる農村空間に対する国民の理解と期待が高まっていることなどを踏まえ、地域の個性・多様性を重視する形に転換する必要があります。特に農山漁村の活性化を図るためには、農林水産業の振興を基礎としつつ、人材の育成、農山漁村の集落の再生、農林水産業を核とした経済の活性化が重要です。

平成20年度においては、様々な活性化のための施策が進められ、農水省においても、「地域の人材と、農林水産物や伝統文化をはじめ」地域に存在する有形無形の素材を十分活用すること、いわゆる「地域力」に焦点をあてた「ふるさと地域力発掘支援モデル事業」が創設されました。

このような活性化支援施策の円滑かつ効果的な推進を図るためには、事業実施地区等のネットワークを構築し、人材育成などを目的とした交流会の開催や情報提供を行うとともに、学生・NPOとの協働による取組や、直売所等販売交流施設との連携を図ることが不可欠です。

このため、本研修会では、先進的な地域の取組事例を題材に、いかにして、それぞれの地域の「地域力」を農山漁村の活性化に結びつけるか、どう具現化していくかについて、地方自治体等の実務担当者を対象に、幅広く総合的な研鑽を図ることとしているところです。

地域活性化へ向けて、地域資源の保全活用や多様な主体の参画等への取組を考えている地域のリーダーや担当者の方々にとって非常に有意義な研修ですので、是非ともご参加を頂きますようお願いいたします。

2. 日 時

平成20年11月27日(木) 会議 13:00~17:30 (受付・開場12時00分~)
~11月28日(金) 現地調査 8:30~11:30

3. 場 所

愛媛県内子町

会 議：内子座

現地調査：内子町石畳地区(第1回美の里づくりコンクール農林水産大臣賞)

直売所「フレッシュパークからり」 ほか

4. 参加者(約250名を予定)

①一般参加：募集100名(全国からの申込みで、先着順とし、定員となり次第締め切ります)

②登録参加：約150名(中国四国管内のH20ふるさと地域力発掘支援モデル事業実施地区の代表者)

5. 参加費用：2千円(資料代、現地調査経費として、当日会場にて申し受けます。)

6. 農業農村工学会技術者継続機構プログラム

本研修会は、農業農村工学会技術者継続教育プログラムとして認定を受ける予定です。

7. 主 催

農林水産省

財団法人農村開発企画委員会

「ふるさと活性化研修会」

主催 農水省・(財)農村開発企画委員会

1日目 20年11月27日(木) 13時00分～17時30分(12時00分～受付・開場)

- 開会挨拶(13:00) 中国四国農政局次長 秋本 佳則(5分)
 歓迎挨拶 内子町長 河内紘一(5分)
- 情勢報告 農林水産省農村振興局都市農村交流課課長補佐 宗田 功(15分)
- 基調講演(13:25～13:55) 岡山大学名誉教授 目瀬 守男 氏
 「真の活性化とは」(30分)
 <休憩5分>
- 事例報告(14:00～)
- ① 先進事例地区の活動紹介(14:00～16:00)(30分×4地区 120分)
 - 1) 伊座利の未来を考える推進協議会(徳島県美波町、2007むらづくり天皇杯) 草野 裕作 氏
 - 2) 津和野農業担い手育成総合支援協議会(島根県津和野町) 糸賀 盛人 氏
 - 3) 石畳を思う会(愛媛県内子町) 地域振興アドバイザー 岡田 文淑 氏
 - 4) 海士町ふるさとづくり協議会(島根県海士町) 海士町役場交流促進課長 青山 富寿生 氏<休憩10分>
- ② 意見交換会「直売所を核とした活性化について」(16:10～17:20)(70分)
 - 司会:中国四国農政局 農村振興課長 三善 浩二
 - アドバイザー(7名):目瀬守男(基調講演者)、事例報告者4名、直売所からり代表者(1名)
 中国四国農政局秋本次長
 - 直売所「フレッシュパークからり」の説明、地元から(16:10～16:30)
 - 会場からの質問、意見交換(16:30～17:20)
 - ※会場からの質問、意見等自由な発言により、アドバイザーとの意見交換を進める。
- ふるさと地域力事業地区(管内64地区)のネットワーク設立の提案(17:20～17:30)
- 閉会(17:30)
- 宿泊

2日目 20年11月28日(金) 8時30分～11時30分

現地調査(2班に分けて実施、貸し切りバスで移動)

- 第1班
 - 集合場所(内子東自治センター)発(8:30)
 - 石畳地区(9:00～10:30)
 - 「フレッシュパークからり」(10:30～11:30)
- 第2班は上記行程の前後逆の行程とする。
 11:30に内子駅等で解散